

保護者の皆様へ

平成29年3月9日

京都市立仁和小学校  
校長 鳥屋原 学

### アンケートのお礼

ゆめの森の草花もつぼみをふくらませる季節となってまいりました。平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、1月には学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。遅くなりましたが、学校アンケートの結果を報告させていただきます。皆様のご意見を大切に、今後の仁和教育に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。

〈アンケートの見方〉

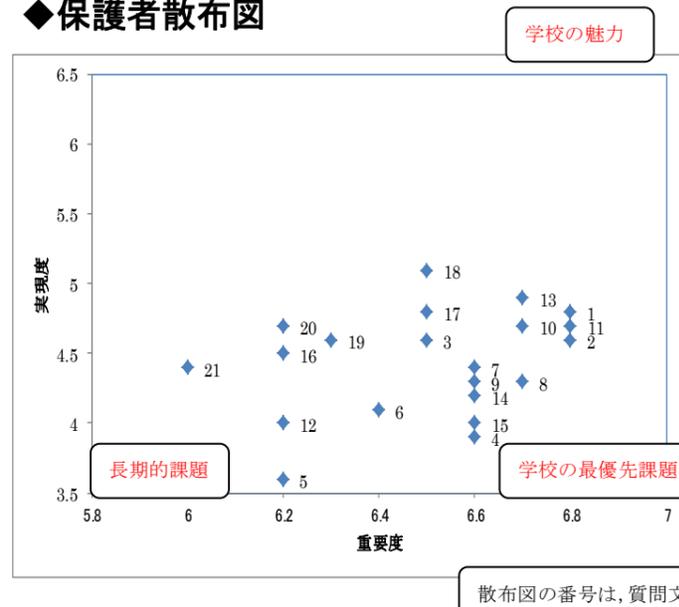
- ・学校評価の観点を4つの分野（確かな学力・豊かな心・健やかな体・学校独自の取組）に分け、児童、保護者、教職員、学校運営協議会理事・企画推進委員を対象として調査しています。多少、表現の仕方に違いはありますが、いずれもほぼ同じ内容の質問をしています。（1・2年生は、質問内容が実現度のみになっています。）尚、保護者アンケートについては、具体的な「評価の視点」を示すことで、基準を明確にし、より客観性を高めるよう取り組みました。
- ・「重要度」「実現度」を同時に尋ねる形式をとることで、「重要であるのに実現度が低い」（ニーズ度が高い）などの課題が分かりやすくなります。
- ・重要度・実現度の最高値は7、ニーズ度の最高値は49です。重要度6.4以上、実現度4.6未満を網掛けにし、ニーズ度25以上を重点課題と捉えています。

### ◆保護者集計表一覧

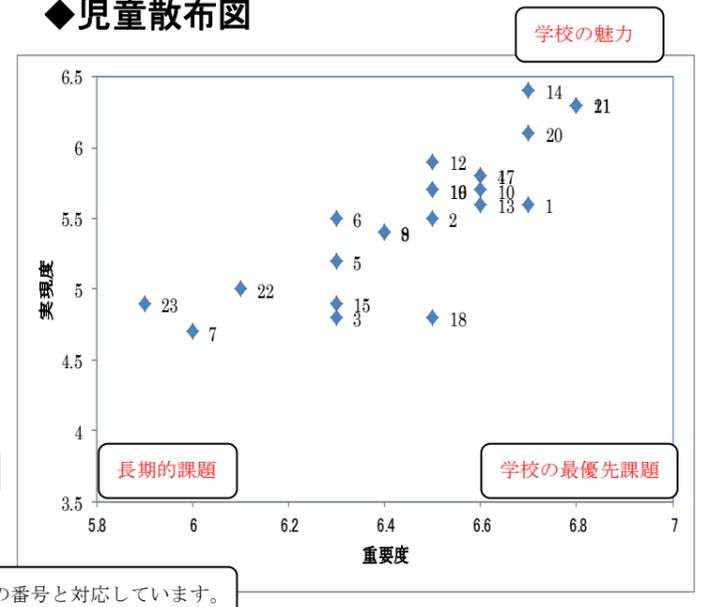
前期と比べて 「↑」増えた 「↓」減った 「-」同じ

	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 子どもが意欲的に取り組める授業であること	6.8-	4.8-	21.8
	2 子どもが学習の基礎・基本の力を身につけていること	6.8-	4.6-	23.1
	3 教師が子どもたち一人一人にわかる授業をするよう心がけていること	6.5↓0.1	4.6↓0.1	22.1
	4 自分の思いや考えをわかりやすく書いたり話したりできること	6.6-	3.9-	27.1
	5 子どもに本を読む習慣があること	6.2↓0.1	3.6↓0.1	27.3
	6 子どもががていねいに家庭学習に取り組んでいること	6.4-	4.1↓0.1	25.0
	7 子どもが途中であきらめず、学習に対して最後まで粘り強く取り組むこと	6.6-	4.4↑0.1	23.8
豊かな心	8 子どもが進んであいさつすること	6.7↑0.1	4.3↓0.1	24.8
	9 学校が子ども一人一人を大切にしたい学校づくりをしていること	6.6-	4.3-	24.4
	10 きまりや約束事を守る指導を進めること	6.7↑0.1	4.7-	22.1
	11 子どもが人に対する思いやりの心をもつこと	6.8-	4.7-	22.4
	12 家族の中での仕事の役割があり、しっかり守っていること	6.2↓0.1	4.0-	24.8
	13 家族の中で子どもとのふれあいや対話の時間をもつこと	6.7↓0.1	4.9↓0.2	20.8
健やかな体	14 子どもが毎日バランスよくしっかり朝食をとること	6.6-	4.2↓0.2	25.1
	15 子どもが早寝・早起きすること	6.6-	4.0↓0.7	26.4
	16 子どもが好き嫌いなく何でも食べること	6.2-	4.5-	21.7
	17 子どもが健康や体を大切にしたい指導を進めること	6.5-	4.8↑0.1	20.8
18 学校がPTAや見守り隊の方々々と力を合わせ、子どもたちの安全を見守っていること	6.5↓0.1	5.1-	18.9	
学校独自の取組	19 学校の教育方針や取組が、地域・保護者に伝わっていること	6.3-	4.6↑0.1	21.4
	20 学校が家庭や地域と連携して活動すること	6.2-	4.7↑0.3	20.5
	21 学校・PTA・地域の行事が保護者として参加しやすい活動となっていること	6.0-	4.4-	21.6

### ◆保護者散布図



### ◆児童散布図



散布図の番号は、質問文の番号と対応しています。

### ◆児童集計表一覧（3～6年）

前期と比べて 「↑」増えた 「↓」減った 「-」同じ

	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 先生の話すことがよく分かること	6.7↑0.1	5.6↑0.1	16.1
	2 授業中に先生の言われたことがほとんどできること	6.5-	5.5↑0.1	16.3
	3 自分の思いや考えを発表しようとする事	6.3-	4.8↑0.1	20.2
	4 先生や友達の話をしっかり聞くこと	6.6-	5.8↓0.1	14.5
	5 進んで読書すること	6.3-	5.2↓0.1	17.6
	6 家の人に自分の思いを伝えること	6.3↓0.1	5.5↑0.1	15.8
	7 毎日、決まった時間、家庭で学習すること	6.0↓0.1	4.7↓0.1	19.8
	8 いろいろなことにめあてをもって努力すること	6.4↓0.1	5.4↑0.1	16.6
	9 いろいろなことにねばり強く努力すること	6.4-	5.4↑0.2	16.6
豊かな心	10 進んであいさつすること	6.6-	5.7↓0.1	15.2
	11 自分も友達も大切にすること	6.8↑0.1	6.3↑0.1	11.6
	12 学校生活を楽しく過ごすこと	6.5-	5.9-	13.7
	13 学校・学級の「きまり」や「やくそく」を守ること	6.6↓0.1	5.6-	15.8
	14 友達となかよくすること	6.7-	6.4↑0.2	10.7
	15 家で、手伝いをする事	6.3↑0.1	4.9-	19.5
	16 係活動やそうじをまじめにすること	6.5-	5.7-	15.0
健やかな体	17 毎日、バランスよくしっかり朝食を食べること	6.6-	5.8-	14.5
	18 毎日、早寝・早起きをする事	6.5↑0.1	4.8↓0.1	20.8
	19 好ききらいなく、給食を食べること	6.5↑0.1	5.7-	15.0
	20 いつも健康に過ごせるよう、体を大切にすること	6.7↑0.1	6.1-	12.7
	21 安全（交通・防犯）に気をつけること	6.8↑0.1	6.3-	11.6
の学校取組	22 地域のみなさんと交流すること	6.1-	5.0↓0.1	18.3
	23 地域やPTAの行事に参加すること	5.9-	4.9↓0.3	18.3

## ★保護者・児童のアンケートから

児童アンケートでは、実現度4.6未満の項目はなく、そのためにニーズ度も2.5以上になる項目はありませんでした。前期と比べて各数値の上がり下がりや矢印で表しています。また、矢印の右側の数字は、どれだけ変化したかを表しています。保護者・児童アンケートともに前期と比べるとほとんどの項目において変わりがないか、変わっても0.1ポイントの変化にとどまるという結果になりました。その中で、保護者アンケートの「子どもが早寝・早起きすること」の実現度は、大きく変化がありました。前期から比べると0.7ポイントも下がりました。重要度は前期と変わらず高いままであることから、早寝・早起きは大切なことだと思っているが、前期に比べてできなくなっていると考えられている保護者の方が増えていると言えます。それに対して、児童の早寝・早起きに対する意識は、0.1ポイントしか前期と変わらない結果になっています。ただ、全体的に児童の実現度の値は高いのですが、早寝・早起きの値は、低い値になっています。児童は前期の時から早寝・早起きあまりできていないと考えていたと考えられます。また、生活見直し週間の結果も夏休み明けに比べると冬休み明けの方が寝る時刻が遅い児童が増え、早く起きる児童が減っています。寒い季節になり、起きにくくなっていますが、原因はそれだけではないようです。先日、行われた学校保健委員会でも、上のお子さんのペースに合わせて弟や妹まで寝る時刻が遅くなっているという声が保護者の方から出ていました。もちろん、ご家庭によってさまざまな原因があると思います。睡眠には、疲労回復や免疫力アップ、集中力などの脳機能のアップ、体の成長など成長期の子どものに欠かせない働きがあります。学校でも「早寝・早起き」の大切さについて指導していきますのでご家庭でも「早寝・早起き」に努めていただけたらと思います。

保護者アンケート「学校が家庭や地域と連携して活動すること」の実現度は0.3ポイント上がり、児童アンケートでは、「地域やPTAの行事に参加すること」の実現度が0.3ポイント下がっています。今年度のPTA主催の秋の「親子フェスティバル」では、おやじの会の「逃走中」の企画や保健体育員会の学年対抗大縄大会もあり、これまでにない盛況ぶりでした。また、2月に行われた連合会、子ども育成会主催の「おもちつき」では、過去最高の量のお餅があつという間になるほどの賑わいでした。保護者の方は、日頃の見守りなどの活動も含め、学校とPTA、地域の連携を感じていただいているのではないのでしょうか。

学力面においても実現度があまり変わっていません。変化がないからよいわけではありません。特に自分の思いを表現することに関しては、低いままです。日常会話の中でも意識して自分の思いを伝える力を付けることができます。今年度の取組を見直し、自分の思いを表現することをはじめとした様々な学力の向上を目指したいと考えています。

## ☆自由記述欄から（一部抜粋）

- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。毎日楽しそうに通学しており、大変嬉しく思っております。今後ともよろしくお願いします。
- ・6年間ありがとうございました。子どもは、のびのび育っています。
- ・いつも先生方やPTA・地域の皆様に見守っていただき、安心して楽しく学校へ通わせていただいています。

### 【学習・家庭学習】

- ・学習意欲のムラが出てきて親子でロゲンカしながらということもあるので気をつけようと思っています。
- ・なかなか学習に対して意欲がでず、自ら進んで向き合えていないのが現実です。常々、学力の心配はあります。残り勉強等でのフォローアップに頼っている状態です。
- ・基礎問題が確実に分かり、解けるようにもう少し勉強の量を増やしてもらいたいです。分からないまま進んでいるのでこの先、大丈夫かととも心配になっています。

⇒ 授業中の学習は、授業中にやり切るように努めていますが、中には休み時間や放課後に個別で指導しています。しかし、定着させることを考えると家庭学習は不可欠です。計算や漢字などの基礎的基本的な内容を中心に宿題を出して定着を目指しています。家庭学習の目安は、学年×10～15分と考えています。まずは、毎日決まった時間学習することの習慣化を図りたいです。そして、高学年になるに従い、自主学習の量と質を向上させたいです。そのために、学校では仁和版「自学自習構想」「自主学習のすすめ」をもとに友達の自主学習ノートを紹介して、よい学習の仕方が広まるようにしています。今一度、学校と家庭が協力して児童の学力向上を目指したいと思います。

### 【ホームページ】

- ・前回、アンケート時にホームページをもっとUPしてほしいとお願いしたら、すぐに実現していただき、毎回楽しく拝見しております。

### 【あいさつ】

- ・毎日楽しそうに通学しており、親として嬉しく思います。PTA活動の登校時に校門で声かけ当番の際に気になっているのですが、高学年ほどあいさつができていないのが残念に思う点です。
- ・「元気にあいさつ」これできていない子どもが多いのが気になる点です。
- ・大きくなるにつれてはずかしいという気持ちが出てきて、なかなかあいさつをしなくなってきた。⇒ 毎回、あいさつが課題として上がってきています。学校長の話や学級指導の中で、児童会のあいさつ運動など様々な場面であいさつについて考えたり、働きかけたりしています。しかし、残念ながら多くの児童が進んであいさつをしているとはいえません。思春期に入る高学年の時期、あいさつをしなくなることがあるかもしれませんが、低学年のお手本になれるよう引き続き指導していきます。

### 【家庭で】

- ・ゲームや習い事で寝る時間が遅くなっているので、学校でねむくなっていないか気になっている。もう一度見直して学校できちんと勉強できるように生活リズムを整えていきたいです。
- ・生活のリズムやあいさつをすることは、家庭での日常の積み重ねだと思うので、親も気をつけなければならないと改めて思いました。
- ・もうすぐ高学年になることもあり、少しずつ成長してきているのもわかり、嬉しく思う反面、学習面や他の物事について、自分の都合のよいように折り合いをつけてしまうこともあります。親子で考えなければいけない時期かなのかなと思うこの頃です。⇒ このアンケートを機会にご家庭でのことを振り返っていただき、ありがとうございます。家庭での生活基盤がしっかりしてこそ、子どもたちは安心して学習したり遊んだりできると思います。学校と家庭が歩調を合わせて取り組んでいきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。

## ☆学校運営協議会理事・企画推進委員の皆様より（一部抜粋）

- ・いつでも子どもの心に寄り添ったご指導をいただいているので、安心できる学校環境だと思います。
- ・おうちのことやお仕事でなかなか学校へ来られないと思いますが、もっと学校での子どもたちの姿をたくさん保護者の方に見ていただきたいと思いました。
- ・登校時、まだ眠たそうであいさつもほとんどしません。時間にルーズになってきています。まなび教室でも完全下校時5分前から帰る準備の声かけをしています。動き出すのは10分以上たってからです。
- ・久しぶりに自由参観に行きました。児童の集中力の高さ、私語のないこと感心しました。他のクラスでは、自学自習でのノートを見ました。質の高さ、テーマの見つけ方にびっくりしました。ノートいっぱい書かれている文字に興味や関心があることがわかり、見ても楽しかったです。ただ、いつも残念に思うのは、帰りの声かけ当番の時に児童から声を出してくれることが、ほとんどありません。最近、こちらからの声かけに対しての反応が全くない子が増えてきているので淋しく思います。下校のチャイムが鳴ってから門を出るまでの時間がかかりすぎているように思います。
- ・いつも連合会活動に対してご理解・ご協力賜りありがとうございます。今の私の立場からですと学校・PTA等の情報が少ないと思います。もっと情報を共有できる仕組みを考えていければと思います。仁和小学校の子どもたちにとって今の連合会の取組がプラスになっているのか、何が足りないか、また、必要のないものはないか等、検証する為にも連合会と学校、PTAとの情報の共有は必要だと思います。

**\*たくさんのご意見をいただきました。今後の仁和教育に生かしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。**